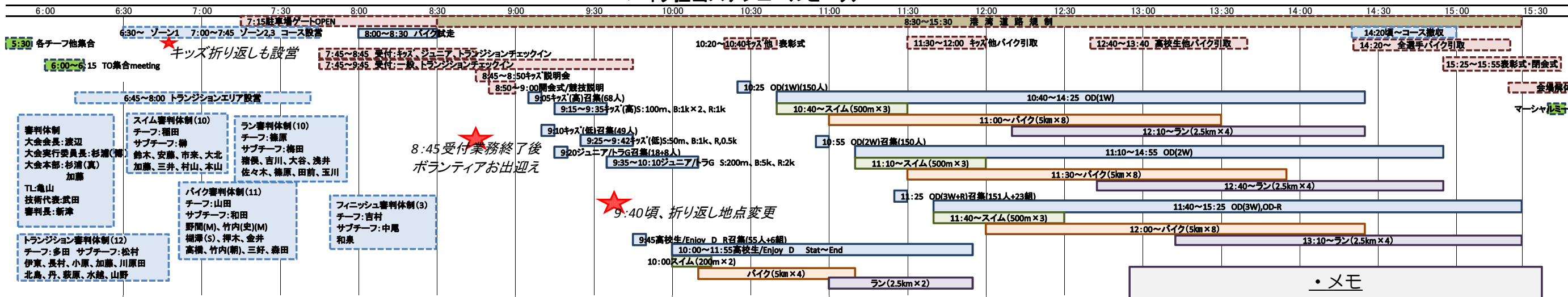


バイク担当スケジュールとエリア



- 審判体制**
大会会長: 渡辺
大会実行委員長: 杉浦(輔)
大会本部: 杉浦(真)
加藤
- スィム審判体制(10)**
チーフ: 酒田
サブチーフ: 榊
鈴木、安藤、市来、大北
加藤、三井、村山、本山
- ラン審判体制(10)**
チーフ: 藤原
サブチーフ: 梅田
猪俣、吉川、大谷、滝井
佐々木、橋原、田前、玉川
- バイク審判体制(11)**
チーフ: 山田
サブチーフ: 和田
野間(M)、竹内(史)(M)
榊澤(S)、押木、金井
高橋、竹内(朝)、三好、森田
- フィニッシュ審判体制(3)**
チーフ: 吉村
サブチーフ: 中尾
和泉
- トランジション審判体制(12)**
チーフ: 多田 サブチーフ: 松村
伊東、長村、小原、加藤、川原田
北島、丹、萩原、水越、山野



・バイクオペレーションマニュアル

- ボランティアに任せられることは極力任せて、審判員は担当ブロック内を適宜巡回 競技に支障の出ないように留意。
- ボランティアには、競技スケジュールを教えて役割を明確に指示し行動。大きな声を出して選手の誘導や観客のコントロール等を積極的に担当。行動しない場合は注意し、それでも改善しない場合はチーフやサブチーフに連絡。

・メモ

競技運営・バイクマニュアルより

■運営関連

- ゾーン2, 3は道路幅の2/3をコースとして使用。残り1/3は、日曜日出勤のトラック等が進入する。その場合、カーブではコーンを移動するなりして誘導。
- 配置後コースの設営状況確認。コーンや案内板のセッティング。
路面確認、竹ぼうき等でガラス片やごみの清掃、危険箇所はコーン/テープ等で養生

■競技関連

- ルール違反選手は、ナンバー、時間、場所を詳細に記録。審判長に報告し裁定。
- 計測はアンクルバンド。「個人の周回確認は自己責任」。
- リタイア時は、ナンバー、氏名、時間、場所、理由を確認記録、アンクルバンド回収。
チーフは大会本部に無線、携帯でナンバー、リタイア理由を報告し、アンクルバンド返却。
- トイレは公園が最寄りのコンビニで。

<ローカルルール>

- レースナンバーは背面。
- 前空き前ファスナー付ウェアの着用は可。但し、ファスナーを上げる。
- ヘッドフォンやイヤホンは禁止。
- 小中学生のDHバーの装着は禁止。
- バイクは、エイドステーション無し
- ドラフティングゾーンは10m x 道幅。悪質な場合は審判長に報告。
- 今回バイク試走があります。
- ペナルティBOXは無し。ドラフティング等は、基本的に警告のみ。
- サイクルメータ代わりのスマートフォンの取り付けは可、それ以外は不可。